

種類別明細書（増加資産・全資産用）

令和 年度		所有者名										枚のうち				
年度を記入してください。		所有者の氏名を記入してください。										枚目				
者コード		相馬 太郎														
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額 (イ)	耐用年数	減価残存率 (ロ)	価額 (ハ)※		課税標準額 の特例 率 コード		増加事由	摘要
					年号	年	月				十億	百万	千	円		
01	2		厨房設備	1	4	3	1	0	4					①・2		
02														3・4		
03														1・2		
04														1・2		
08														3・4		
09														1・2		
10														3・4		
11														1・2		
12														3・4		
13														1・2		
14														3・4		
15														1・2		
16														3・4		
17														1・2		
18														3・4		
19														1・2		
20														3・4		
小 計														1・2		
														3・4		

【資産の種類】
以下の数字で記入してください。
1=構築物
2=機械及び装置
3=船舶
4=航空機
5=車両及び運搬具
6=工具、器具及び備品

【資産の名称等】
資産の名称は必ず記入してください。

【数量】
数量は必ず記入してください。

【取得年月】
1=明治
2=大正
3=昭和
4=平成
5=令和
(例)平成31年
4月の場合は
「43104」と
なります。

【取得価額】
該当資産の取得価額を記入してください。
※圧縮記帳を行っている場合は、圧縮前の取得価額を記載してください。

【耐用年数】
税務会計上の耐用年数を記入してください。税務署への申告書類と一致させるのが原則です。

【増加事由】
該当する増加事由に○をつけてください。
1=新品取得
2=中古品取得
3=移動による受入れ
4=その他

4の場合、摘要欄に理由を記入してください。

注意 「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受入れ、4その他のいずれかに○印を付けてください。
「年号」の欄は、1明治、2大正、3昭和、4平成、5令和を記載してください。

令和 年度

種類別明細書(減少資産用)

所有者の氏名を記入してください。	所有者名	枚のうち
	相馬 太郎	枚

行 番 号	資 産 の 種 類	※抹消コード	資 産 の 名 称 等	数 量	取 得 年 月			取 得 価 額	耐 用 年 数	申 告 年 度	減少の事由及び区分		摘 要
					年 号	年	月				1 売却 3 移動	2 滅失 4 その他	
01	2		検査装置	1	4	3	10	4	10000000	8	1・2・3・4	1・2	
02	6		パソコン	1	4	3	10	5	1000000	8	1・2・3・4	1・2	
03											1・2・3・4	1・2	
04											1・2・3・4	1・2	
05											1・2・3・4	1・2	
10											1・2・3・4	1・2	
11											1・2・3・4	1・2	
12											1・2・3・4	1・2	
13											1・2・3・4	1・2	
14											1・2・3・4	1・2	
15											1・2・3・4	1・2	
16											1・2・3・4	1・2	
17											1・2・3・4	1・2	
18											1・2・3・4	1・2	
19											1・2・3・4	1・2	
20											1・2・3・4	1・2	
小 計													

【資産の種類】
以下の数字で記入してください。
1=構築物
2=機械及び装置
3=船舶
4=航空機
5=車両及び運搬具
6=工具、器具及び備品

【資産の名称等】
資産の名称は必ず記入してください。

【数量】
数量は必ず記入してください。

【取得年月】
1=明治
2=大正
3=昭和
4=平成
5=令和
(例)平成31年
4月の場合は「43104」となります。

【取得価額】
該当資産の取得価額を記入してください。
※圧縮記帳を行っている場合は、圧縮前の取得価額を記載してください。

【耐用年数】
税務会計上の耐用年数を記入してください。税務署への申告書類と一致させるのが原則です。

【減少の事由】
以下の数字で記入してください。
1=売却
2=滅失
3=移動
4=その他

4の場合、摘要欄に理由を記入してください。

【減少の区分】
以下の数字で記入してください。
1=全部
2=一部